

# 北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
ブックスタート事業「はじめての絵本」		北図書館・北保健センター・企画総務課			
事業目的	事業内容	活動指標	R2	R3	R4
乳児とその保護者に絵本を配布するとともに、読み聞かせを実施する。これらを通じて参加者が親子の絆を深めるとともに、保護者に子育ての喜びを感じてもらう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北保健センターで実施する4か月児健診時(月2回)に北図書館で選定した絵本を配布する。</li> <li>・北保健センターで実施する「子どもの歯相談室」にあわせて、ボランティアによる絵本の読み聞かせを開催する。</li> </ul>	絵本の配布数	1,742冊	1,405冊	1,361冊
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 乳児とその保護者に絵本に触れる機会を提供し、ボランティアによる読み聞かせを実施することで、親子の絆の深まりや子育てしやすいまちづくり、地域住民との相互交流に繋がると考えられ、行政が実施すべき事業である。	○ 北図書館及び図書館を拠点として活動する市民ボランティアと連携し、新たに「子どもの歯相談室」の受診者とその保護者を対象に月1回読み聞かせを実施した。10回の実施で合計約160人の子どもと保護者が参加し、区民との協働事業として運営を行うことができた。	○ 絵本の配布とともに、市民ボランティアによる読み聞かせを実施し、ボランティアから図書館の利用を促すことで、親子が本に親しむきっかけづくりを提供できている。 また効果検証の一環として1歳半健診で保護者にアンケート調査を行ったところ、「この取り組みが子どもとの触れ合いに役立った」との回答が約95%あり、一定の事業効果を得ているものと考えられる。	○ 北保健センターで実施している4ヶ月健診に合わせて絵本を配布しており、対象者に効率的に配布することができている。		
⑤自立発展性	総合評価				
△ 行政が絵本を購入し、対象者に配布することから、区民が自立して実施することは難しい。 読み聞かせについては、ボランティアが主導となって自立発展できる可能性がある。	○ 本事業によって、子どもの心(情緒・想像力・創造力)を育てるとともに、親子の絆を深め、保護者に親子の触れ合いの大切さを感じてもらえることに役立っていると考えられる。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	絵本の配布・読み聞かせを通じて親子の触れ合いや子育ての喜びを感じてもらうことに寄与しており、事業を継続させていく必要があるものとする。				